

第6学年〇組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

- 1 **主題名** きまりを守ることは、なぜ大切なのか？（内容項目：【C 規則の尊重】）
- 2 **ねらい** チームのルールを破った星野君の行動について考え、話し合うことを通して、規則やきまりの意義を理解し、規則やきまりを進んで守ろうとする心情を育てる。

教材名 「星野くんの二るい打」（出典『新しい道徳6』東京書籍）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

高学年になってさらに自主性が育ち、今後の児童の成長には社会生活を送る上で必要であるきまりや、法律を進んで守ろうとする心情が大切であると考え。本時では、迷いながらも自分の判断を優先した星野君の思いと、チームのルールの大切さの両方について考え、きまりの持つ意義やそれを守る大切さについて気づかせていきたい。

指導にあたっては、より内容を理解するため、野球のルールについて簡単に確認をする。また、中心発問では、星野君や監督、チームメイトの意見を考え、きまりを守ることの意味について考えを深められるようにしていきたい。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、これまでの経験や学習を通してきまりを守ることの大切さや、きまりを破れば信頼を失ったり、破ったことに対して後ろめたさが残ったりすることは理解している。しかし、当番活動や委員会活動など自分の任された仕事を毎日取り組む児童がいる一方で、自分の都合や不都合を優先させてしまい、相手の状況によってきまりを守ったり守らなかったりする児童もいる。そこで、本教材を通して、自分の考えや判断が集団によってどのような影響を与えているのか、また、きまりは自分や周囲の人々が幸せになるためにあるということに気づかせたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本題材は、高学年内容項目「C 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。」をねらいとしている。

本教材は、星野君は野球の試合において監督の「バント」の指示を守らず、自分の判断でバットを振り、二塁打を打つ。しかし試合の翌日、監督は、チームのルールを破った星野君の行動についてチームメイトに問うとともに、厳しい判断を伝える内容である。星野君の判断とチームのルールの双方を考えながら、きまりを守ることの意味について考えることができる教材である。

4 研究主題との関連 本校研修主題『主体的に学び合う児童の育成』

- ・話し合いを通して、登場人物の気持ちを想像しようとする力を養う。【主】（主体性）
- ・自分の考えを友達に伝え合い、相違点に気付いたり考えを深めたりする力を養う。【学】（学び合い）

5 単元指導における工夫と配慮【UD】

●構造化・焦点化	◇視覚化	☆共有化
・友達と話し合う、発表するなどの活動時間をあらかじめ示す。	・場面絵を活用し、場面を想像しやすくする。	・同じ考えの児童とグループを作り、考えを交流する。

6 学習指導過程

学習活動 主な発問(○)	予想される児童の反応(・)	指導上の留意点・評価 □評価 ●構造化・焦点化 ◇視覚化 ☆共有化 *その他(個別支援等) ◎A、C評価の児童への手立て	時
1 アンケート結果について話し合い、本時のテーマについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにはきまりがたくさんある。 ・きまりがあるのに守れていない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちは生活の中で、多くのきまりと関わり合っていることを知る。 ☆アンケート結果から本時のテーマについて考える。 	5
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 今日のテーマ _____ ～きまりを守ることは、なぜ大切なのか?～ </div>			
2 「星野君の二るい打」を読んで話し合う。		◇モニターを使って範読をする。	3
○監督の命令に従わず、バットを振った星野君の行動に賛成ですか、反対ですか。	【賛成】 <ul style="list-style-type: none"> ・結果としてチームは星野君のおかげで勝てたから問題はない。 ・打てる自信があったからよい。 【反対】 <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを破ったことでチームメイトが嫌な思いをする。 ・もし打てていなかったらチームに迷惑をかけていた。 	◇紅白帽子を使って意見を視覚化できるようにする。 ☆どちらの行動もチームのことを思っている行動であることを確認する。 ●小グループで自分の考えを深め、全体へと広げていく。 □友達の意見を取り入れながら、自分の考えを話し合っている。 (小グループ・全体)	10
○監督の話を聞いた星野君は、どんなことを考えているのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメイトに申し訳ないことをしてしまった…。 ・今度はチームのためにきちんときまりを守ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●最後の挿絵からきまりを守らなかった星野君はどんな気持ちなのかを考える。 ●守らなかったことに対しての後ろめたさに気づかせる。 	7

<p>○星野くんがきまりを破ったとき、チームメイトはどんな気持ちだっただろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・星野君だけ自分勝手に許せない。 ・嫌だったけど結果勝てたから許せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●チームメイトの気持ちを考えることで、本時のテーマへつなげていく。 	7
<p>3 本時のテーマについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりは自分だけではなく周りの人が幸せになるためにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケート結果に振り返り、身の回りのきまりの必要性について考える。 	8
<p>4 振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけではなく、周りの人たちのことも考えてきまりを守っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本時の学習から学んだことから、これまでの自分を見つめ直し、今後どのように行動していきたいか考える。 □きまりを守ることの大切さについて自分との関わりで考えている。 	5

7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・友達の意見を取り入れながら、自分の考えを話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・きまりを守ることの大切さについて自分との関わりで考えている。